

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.osaka-soda.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は、1単元(100株)に満たない当社株式を所有されている株主さまの便宜をはかるため、「単元未満株式の買増・買取制度」を実施しております。
お手続きなどの詳細に関しましては、証券会社にて株式を管理されている場合はお取引先の証券会社に、特別口座にて株式を管理されている場合は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

当社グループをより知っていただくために、ホームページもご活用ください。

- 最新の情報はこちらでご覧いただけます。
ホームページアドレス
<http://www.osaka-soda.co.jp/>



トップページ

株主のみなさまへ

第167期 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで



株式会社 大阪ソーダ

証券コード：4046

<http://www.osaka-soda.co.jp/>

Something **Better** with Chemicals

化学で笑顔を
育む会社

すごソーダ



株式会社 大阪ソーダ

本社 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18
TEL.06-6110-1560



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループは、第167期中間期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の決算を行いましたので、ここに事業の概況についてご報告申し上げます。

2021年12月

代表取締役社長執行役員

寺田 健志

グループ 企業理念

独創的な
技術と製品により
安心で豊かな社会の
実現に貢献します

業績ハイライト

売上高	422 億円	前年 同期比	—	—
営業利益	57 億円	前年 同期比	62.8%	↗
経常利益	62 億円	前年 同期比	66.5%	↗
四半期純利益	44 億円	前年 同期比	78.7%	↗
中間配当	35 円	年間配当	70 円(期末予定)	

※当連結会計年度期首より収益認識に関する会計基準等を適用

事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが続いております。感染対策の徹底、ワクチン接種の促進、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、今後も回復基調が続くものと期待されますが、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような環境のもと、当社グループは、新中期経営計画「EMPOWER THE NEXT-22」をスタートさせ、「レジリエントな事業基盤の構築」、「マーケットイン型開発の推進」、「SDGsへの取組み」および「企業文化・組織風土の改革」の4つの基本方針に基づき、具体的な施策に取組みました。

「レジリエントな事業基盤の構築」では、化学品事業、機能材事業、ヘルスケア事業の3つの事業をコア事業と位置づけ強靱化戦略を推進しています。当第2四半期連結累計期間においては、機能材事業では、供給体制の拡充と生産性の向上によりアリルエーテル類の世界的な需要拡大に対応することができました。ヘルスケア事業では、医薬品精製材料の新規グレードの採用が拡大したことや、医薬品原薬・中間体で新規案件の獲得が進んだこともあり順調に推移

しました。また生産現場を中心にコストダウンへの取組みも着実に成果として利益に貢献しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、421億5千7百万円と前年同期比6.7%の減少となりました。収益認識会計基準等を適用したことによる売上高の減収影響が122億6千6百万円あり、実質的には増収となりました。利益面におきましては、営業利益は56億9千4百万円と前年同期比62.8%の増加、経常利益は61億5千8百万円と前年同期比66.5%の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億2千1百万円と前年同期比78.7%の増加となり、第2四半期連結累計期間として各段階利益は過去最高となりました。

なお、中間配当につきましては、1株当たり35円(前期中間配当に比べ2円50銭増配)とさせていただきます。

今後の見通し

通期の業績見通しにつきましては、本年10月19日に公表いたしましたとおり、売上高820億円、営業利益107億円、経常利益114億円に上方修正しております。株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

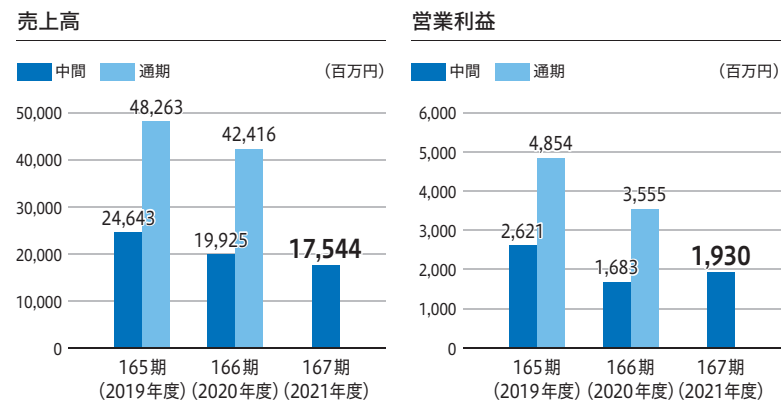
基礎化学品

売上高 **175億4千4百万円** 前期比**11.9%**減少

クロール・アルカリは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による景気の落ち込みから需要が回復し、かせいソーダおよびかせいカリを中心に売上高は増加しました。

エピクロルヒドリンは、電子材料関係を中心に需要が回復し、また原燃料価格上昇分の製品価格への転嫁が進んだこともあり、売上高は増加しました。

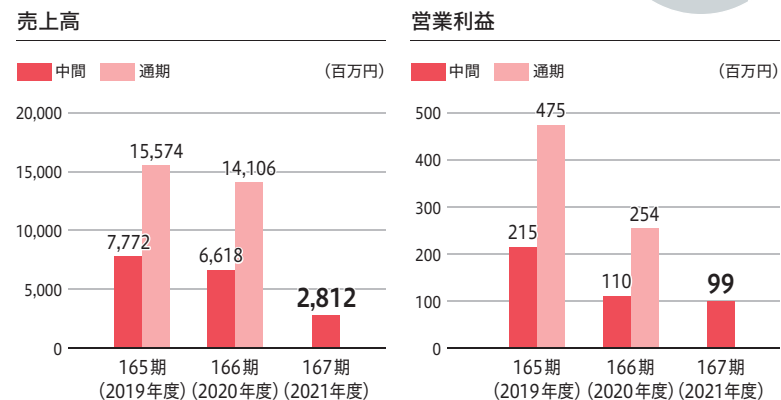
収益認識会計基準等を適用した影響もあり、基礎化学品の売上高は175億4千4百万円と前年同期比11.9%の減少となりました。



住宅設備ほか

売上高 **28億1千2百万円** 前期比**57.5%**減少

生活関連商品の販売は好調に推移しましたが、収益認識会計基準等を適用した影響もあり、住宅設備ほかの売上高は28億1千2百万円と前年同期比57.5%の減少となりました。



機能化学品

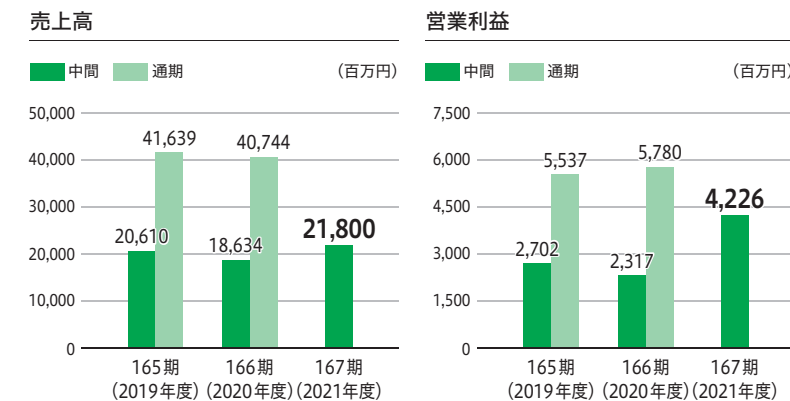
売上高 **218億円** 前期比**17.0%**増加

合成ゴム関連では、エピクロルヒドリンゴムは、自動車用途およびOA用途向けの世界的な需要回復にともない、売上高は増加しました。アクリルゴムは国内外で新規採用が進み、特に中国、東南アジア向けを中心に売上高は増加しました。

ダップ樹脂は、国内では巣ごもり需要の継続により電子材料用途の販売が増加し、海外では中国をはじめとしたアジアや米国向けの輸出が堅調に推移したため、売上高は増加しました。

アリルエーテル類は、旺盛なシランカップリング剤用途の需要増を背景に、国内および中国向けで拡販が進み、売上高は増加しました。

医薬品精製材料は、欧米ならびにアジア向けの糖尿病治療薬用途等の需要が拡大し、売上高は増加しました。



医薬品原薬・中間体は、抗がん剤原薬・中間体、血流改善薬中間体および不眠症治療薬中間体の販売が拡大したため、売上高は増加しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は218億円と前年同期比17.0%の増加となりました。

当社グループのセグメントと主要製品

●セグメント

基礎化学品

●主要製品

かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、塗料原料、接着剤原料など

機能化学品

アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、アクリルゴム、ダップ樹脂、ノンフタレート型アリル樹脂、高純度エポキシ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、医薬品精製材料、カラム・装置等分析機器、医薬品原薬・中間体、光学活性体、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、グラスファイバー、資源リサイクルなど

住宅設備ほか

ダップ加工材、生活関連商品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント・環境保全設備建設など

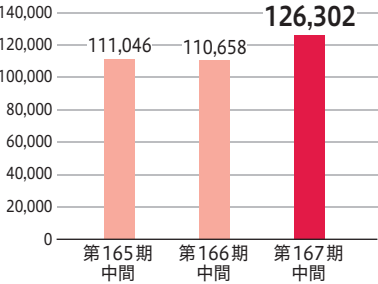
中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要約)

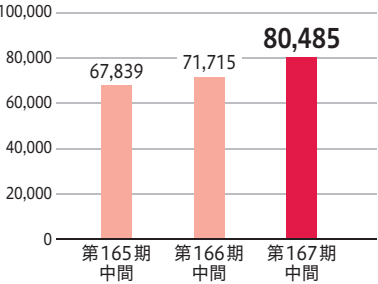
(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期末 (2020年9月30日)	当中間連結会計期末 (2021年9月30日)	前連結会計年度末 (2021年3月31日)
資産の部			
流動資産	68,578	79,096	73,876
固定資産	42,079	47,206	45,496
有形固定資産	20,922	22,710	20,536
無形固定資産	924	690	782
投資その他の資産	20,233	23,804	24,178
資産合計	110,658	126,302	119,373
負債の部			
流動負債	24,454	39,610	26,818
固定負債	14,488	6,207	15,322
負債合計	38,942	45,817	42,141
純資産の部			
株主資本	66,487	72,654	68,977
その他の包括利益累計額	5,224	7,822	8,247
非支配株主持分	—	8	7
純資産合計	71,715	80,485	77,232
負債純資産合計	110,658	126,302	119,373

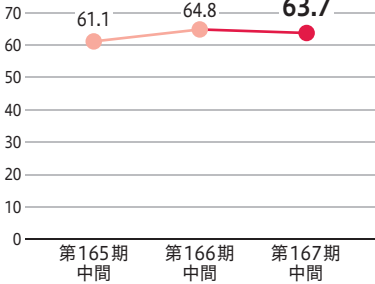
総資産 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円)



自己資本比率 (単位：%)

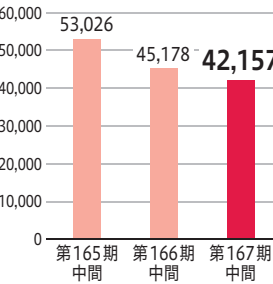


中間連結損益計算書(要約)

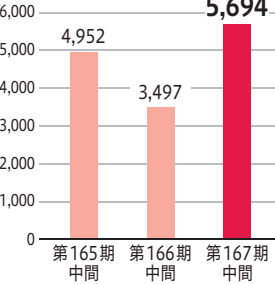
(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	前連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
売上高	45,178	42,157	97,266
売上原価	35,483	29,829	76,282
売上総利益	9,695	12,327	20,984
販売費及び一般管理費	6,197	6,633	12,643
営業利益	3,497	5,694	8,341
営業外収益	333	528	711
営業外費用	132	64	214
経常利益	3,698	6,158	8,838
特別利益	—	304	0
特別損失	92	64	158
税金等調整前四半期純利益	3,606	6,398	8,680
法人税、住民税及び事業税	1,025	2,105	2,585
法人税等調整額	107	△128	44
四半期純利益	2,474	4,421	6,050
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,474	4,421	6,050

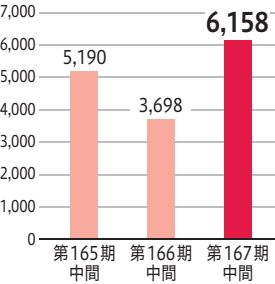
売上高 (単位：百万円)



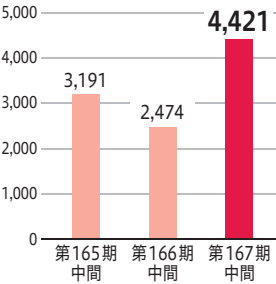
営業利益 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



四半期純利益 (単位：百万円)



中間連結財務諸表

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	前連結会計年度 (自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,638	7,277	9,347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136	△2,322	△1,850
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,341	△795	△4,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	98	4
現金及び現金同等物の増減額	3,116	4,258	3,036
現金及び現金同等物の期首残高	28,899	31,936	28,899
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	32,015	36,194	31,936

TOPICS

ラドパー RADPAR™が「化学技術賞」を受賞 ～UV硬化システムの発展に期待～

本年5月、当社新製品RADPAR™の開発が、一般社団法人 近畿化学協会の2020年度「化学技術賞」を受賞しました。

RADPAR™は、当社が世界で唯一工業化に成功した製品で現在、主にUVインキ用途で使用されています。このたびの受賞では、各種アクリレートへの溶解性向上や、UVインキ以外の多彩な用途展開を可能とする技術の開発が評価されました。UVを用いて硬化するシステムの普及によって省エネルギーやVOCの削減など、環境負荷の低減に貢献することが期待されています。

化学技術賞とは？

化学に関する研究・技術において工業的・社会的・学術的に顕著な業績が認められた若手研究技術者に贈られる賞です。



株式情報(2021年9月30日)

株式の状況

発行可能株式総数 ----- 60,000,000株
発行済株式の総数 ----- 26,732,017株
株主数 ----- 4,721名

大株主一覧(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,565	10.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,330	5.70
株式会社三菱UFJ銀行	876	3.75
株式会社福岡銀行	822	3.52
株式会社伊予銀行	748	3.20
帝人株式会社	678	2.90
株式会社みずほ銀行	669	2.87
日本生命保険相互会社	637	2.73
ダイソー協栄会	624	2.67
損害保険ジャパン株式会社	615	2.63

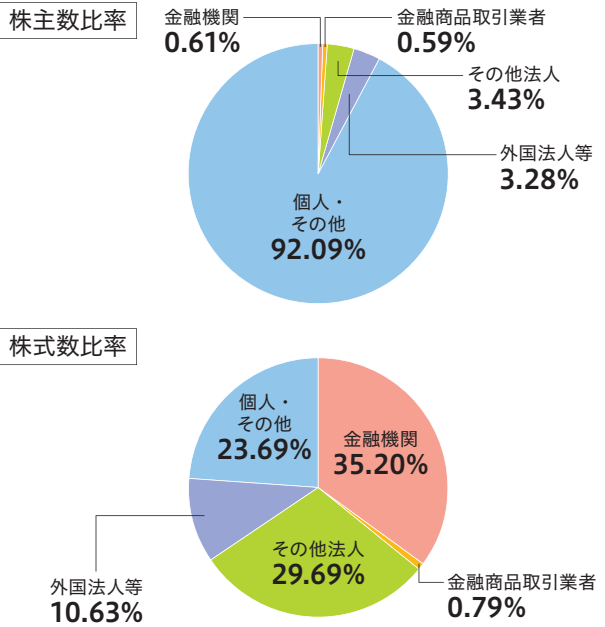
(注)持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(3,400,017株)を控除して計算しております。

中間配当について

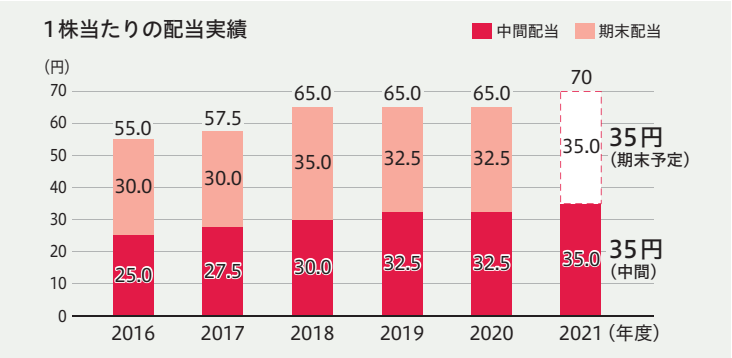
- 1.中間配当 1株当たり35円
- 2.支払開始日 2021年12月3日(金)

(注)2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っており、2016年度の期首に株式併合が行われたものと仮定して配当金を計算しております。

株主分布状況



(注)「個人・その他」には、当社の自己株としての保有分(12.72%)が含まれております。



会社概要 (2021年9月30日)

社 名 ----- 株式会社大阪ソーダ
OSAKA SODA CO., LTD.
U R L ----- <http://www.osaka-soda.co.jp/>
創 立 ----- 1915年(大正4年)10月26日
資 本 金 ----- 15,871百万円
連結従業員数 ----- 999名

関係会社の状況

国内	
会 社 名	主要な事業内容
ダイソーケミカル(株)	化学製品・建材等の販売
ダイソーエンジニアリング(株)	電極の製造・販売、化学設備の設計・施工
サンヨーファイン(株)	医薬品原薬・中間体の製造・販売
(株)ジェイ・エム・アール	資源リサイクル
DSロジスティクス(株)	化学製品の運送取扱い
サンヨーファイン医理化テクノロジー(株)	カラム・装置等分析機器の製造
DSウェルフーズ(株)	健康食品素材の製造・加工販売
ダイソーインシュアランス(株)	損害保険・生命保険の取扱い
日東化工(株)	ゴム製品・樹脂製品の製造・販売
(株)INB プランニング	ゴムコンパウンドの製造・販売

海外	
会 社 名	主要な事業内容
三耀精細化工品銷售(北京)有限公司	カラム・装置等分析機器の販売
DAISO Fine Chem USA, Inc.	医薬品精製材料の製造・販売
DAISO Fine Chem GmbH	医薬品精製材料・機能化学品等の販売
大曹化工貿易(上海)有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
台灣大曹化工股份有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	機能化学品・電子材料等の輸出入
DestinHaus Capital Fund 1 LP	投資事業

役員

[取締役・監査役]

代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員	寺 田 健 志
取 締 役 常 務 執 行 役 員	堀 登
取 締 役 上 席 執 行 役 員	古 川 喜 朗
取 締 役 上 席 執 行 役 員	小 西 淳 夫
取 締 役 (社 外)	二 村 文 友
取 締 役 (社 外)	百 嶋 計
取 締 役 (社 外)	宮 田 興 子
常 勤 監 査 役	瀬 川 恭 史
常 勤 監 査 役 (社 外)	藤 藪 重 紹
監 査 役 (社 外)	森 真 二

[執行役員]

上 席 執 行 役 員	平 井 直
執 行 役 員	雑 賀 哲 行
執 行 役 員	北 井 桂 司
執 行 役 員	門 屋 純 一

大阪ソーダグループのネットワーク (2021年9月30日)

